



南小だより

令和7年度5月号 No. 2
あきる野市立南秋留小学校
校長 小原 太一

URL <https://e-minami03.wixsite.com/website> TEL 558-1136 FAX 550-3085



あきる野の魅力を

晴れた日の校長室の窓からは、青空と丘陵の木々の緑だけが見え、私の心を和ませてくれます。東京にありながらも、これだけの自然に囲まれたあきる野市の学校に勤めることができる幸せをいつも感じながら過ごしています。

先日、5・6年生の遠足で「戸倉城山」へ行ってきました。五日市駅から徒歩で旧戸倉小学校まで行き、その近くにある登山口からかなりの急勾配を登っていきます。旧戸倉小学校までの道すがら、まさに「清流」と呼ぶにふさわしい秋川を眼下に見下ろしながら、次第に周囲を山々に囲まれて、景色が一変してきます。さらに圧巻は、急勾配を頑張って登り、疲れ切った後に見える山頂からの景色。五日市から、イオンモール、さらにその先まで望むことができます。観光客にはほとんど会うことはありませんでしたが、この景色は、他の有名な山に全く引けを取ることはありません。しかも「戸倉城山」は自然だけでなく、歴史的にも大変興味深い名所です。室町時代に建てられた山城で、敵が攻めてきた時の村人の避難所や、狼煙を上げる場所として使われていたようです。お城ですから、眺めが良く見通しがきく場所につくられています。その時代の人もここからの景色を眺めていたのかと思うと、とても感慨深いです。

今回、遠足の事前学習として、「あきる野むかしむかし」という本を使って、あきる野の歴史を子どもたちに学んでももらいました。実は、本校の八木先生がこの本の執筆者の一人であったので、八木先生に講師を務めてもらいました。子どもたちは八木先生の話に興味をもって聞き入っていました。

令和7年度のあきる野市の教育方針の中に、「本市の豊かな自然フィールドを生かした体験活動や歴史・伝統を受け継ぐ文化活動、地域の方々とともにつくる協働活動を教育課程に位置付け、ふるさとあきる野に誇りと愛情をもったあきる野っ子の育成を推進する」（一部抜粋）とあります。本校でも、今回の遠足の様に、この指針に沿った教育活動を進めていきます。

4年生の遠足でも、秋川を福生方面へ歩きながら、市民解説員の方に秋川流域の自然や歴史についてお話を聞きます。2年生の遠足でも、草花公園でガサガサ隊の皆さんに協力をいただきながら、あきる野の川にいる生物を調査してきます。この様な教育活動を通して、「あきる野の魅力」を子どもたちに肌で感じてもらい、ふるさとあきる野に誇りをもてる子どもたちを育てていきます。

